

科目コード	N236
授業科目名	産業看護学概論
授業科目名（英文）	Introduction to Occupational Health Nursing
講義室等	1102
学科	看護学科
対象学年	2年
開講学期	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-4
該当コンピテンス	◎看CP-6、○看CP-7、△看CP-3
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	栗山 知子
授業の概要	産業看護の本質を、働く人を含めた公衆衛生活動の歴史的変遷から理解するとともに、臨床医療と産業保健におけるアプローチの違いからも産業看護の意義や視点を学ぶ。また、労働特性から生じる健康格差や健康課題、それに対する具体的な介入方法を現役の産業看護職らの講義を通じて学び、社会で求められている看護職の専門性について考察する。
授業の到達目標 （学修効果）	1. 人々が働く場で看護の果たすべき役割を説明できる。 2. 病院での医療・看護との違いと、予防的介入の重要性について理解ができる。 3. 疾病を有する労働者への看護介入と支援のあり方について述べるができる。 4. トータル・ヘルスプロモーション・プラン（THP）に基づく事業場の健康保持増進活動のあり方について理解ができる。 5. 日本社会の現状をふまえ、労働者の健康や安全に関する実態を把握し、必要な安全衛生支援について考えることができる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	定期試験(60%)、提出物および学習の取り組み姿勢(40%)で60点以上を合格とする
教科書	講義資料を授業にて配付する
参考書	厚生統計協会編「国民衛生の動向」最新版（財団法人厚生統計協会） 河野啓子著 「産業看護学 第2版 2024年版」2019年（日本看護協会出版会） ISBN 978-4-8180-2606-3
その他	保健師国家試験受験に必要な科目

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R7.10.6	月	Ⅲ	産業看護の起源/看護職の立場と役割	講義	栗山 知子		
				予習 シラバスを確認し、授業の概要を把握して くすること				
				復習 本科目の全体像をつかめるよう復習し、自 身にとっての授業を受ける目的を確認する				
2	R7.10.20	月	Ⅲ	対象の理解と産業保健的アプローチ	講義	栗山 知子		
				予習 トータルヘルスプロモーションプラン (THP)の目的と取り組みについて調べて くる				
				復習 講義内容を振り返る				
3	R7.10.27	月	Ⅲ	産業看護の魅力と将来展望	講義	河野 啓子	2	
				予習 看護の専門性はどのようなところにあるの かを考えておく				
				復習 講義のまとめや事後課題に取り組む				
4	R7.11.10	月	Ⅲ	場の理解/集団・組織への支援	講義	栗山 知子		
				予習 健康診断に基づく健康確保対策と、労働災 害補償と業務上疾病の実態について確認し ておく(「国民衛生の動向」参照)				
				復習 最終課題の提出に向けて自身のテーマを検 討し、情報収集に取り組む				
5	R7.11.17	月	Ⅲ	大企業における産業看護活動の実際	講義	入口 智子	2	
				予習 労働衛生の3管理5分野について復習して おく(「国民衛生の動向」参照)				
				復習 講義のまとめや事後課題に取り組む				
6	R7.12.1	月	Ⅲ	中小企業における産業看護活動の実際	講義	白石 明子	2	
				予習 4回目の講義資料を参考に、中小企業で働 く人の健康課題について考える				
				復習 講義のまとめや事後課題に取り組む				
7	R7.12.8	月	Ⅲ	大学における産業看護活動の実際	講義	江口 美和	2	
				予習 働く人としての医療従事者(看護師)の業 務特性について考える				
				復習 講義のまとめや事後課題に取り組む				
8	R7.12.15	月	Ⅲ	労働と関連する近年の健康課題	発表	栗山 知子		
				予習 提示された課題に関する情報収集と学びの 整理をする				
				復習 授業内容内容を振り返る				